

週刊

全国賃貸住宅新聞

2019年 **5・13** No. **1365**
 毎週月曜日発行
 発行所 全国賃貸住宅新聞社 最良大感取材用
 東京都中央区銀座8-12-15
 TEL 03(3543)6494(代表)
 03(3543)6761(編集部) http://zenchin.com
 大阪市北区中之島2-3-18 TEL 06(6220)0076
 発行人 河内 幹 年間購読料17,000円

第1365号

(第3種郵便物認可)

全国賃貸住宅新聞

2019. 5. 13

健康 (22)

自社ビルをモデルルーム兼レンタルスペースに



▲2階にある「リアリノ」のモデルルーム

リノベーションモデルルームオープン

リアル

リノベーションや住宅の再販事業を手掛けるリアル(愛知県名古屋市中区)は、レンタルスペースも兼ねたリノベーションを体感できるショールーム『REAL(リアル)リノベスタジオ』を10日にオープンした。

同ショールームは、リノベーションを身近に体験してもらうことを主目的に、また立地の良さで需要が見込めるとして有料のレンタルスペースとしても運営する。

モデルルームには住宅設備のサンプルとして、最新型のシステムキッチン、洗面化粧台、トイレ、壁材や床材などを数種類ずつ設置。特にフロリングは、2階に10種類、4階に4種類あり、色や質感の違いを実際に見て比較ができた。IoT機器の体験も可能だ。照明やデザイン家具を配置し、空間のコーディネートも行った。レンタルスペースとしても70インチ対応プロジェクターを設置するなど、ワークショップやセミナー、撮影スタジオなどの利用も見込んでいる。

このショールームが入る。同社では、リノベーションを施した自社ブランド住宅「リアリノ」を展開しており、同ブランドの周知と販売促進や、リノベーション事業の収益につなげたいとしている。

ドクターが自伝 病状と対策

電通大学リサーチ

電通大学リサーチは、2019年5月13日(水)に「ドクターが自伝 病状と対策」を出版した。本書は、電通大学リサーチの調査員が、ドクターの自伝を基に、病状と対策について解説している。

尿蛋白が疾患の危険兆候を示す

尿蛋白検査の重要性と検査方法

尿蛋白は、尿中に含まれるタンパク質の総量を指し、正常ではほとんど検出されません。尿蛋白が増加する状態を「蛋白尿」と呼び、これは腎臓の機能が低下していることを示す重要な兆候です。蛋白尿は、糖尿病、高血圧、腎臓病などの疾患と関連しています。尿蛋白の検査は、尿試紙による簡易検査と、尿沈澱物の顕微鏡検査による精密検査の2種類があります。尿試紙検査は、尿中のタンパク質を定性・半定量で検出しますが、精密検査は、尿中のタンパク質の種類や量を正確に測定できます。尿蛋白が増加している場合は、医師の指導のもとで適切な治療を受けることが重要です。

尿蛋白の検査方法は、尿試紙による簡易検査と、尿沈澱物の顕微鏡検査による精密検査の2種類があります。尿試紙検査は、尿中のタンパク質を定性・半定量で検出しますが、精密検査は、尿中のタンパク質の種類や量を正確に測定できます。尿蛋白が増加している場合は、医師の指導のもとで適切な治療を受けることが重要です。